

消防団ってなに？

「消防団」という言葉は知っているけど、「消防署」とはちがうの？消防団について説明します。

非常備消防

「非常備消防」聞きたくなれない言葉ですが、これと反対に「常備消防」と呼ばれるものがあります。常備消防とは、消防署や消防士といった消防業務を専門に行う行政機関やその職員を表す言葉です。

一方、「非常備消防」と呼ばれる消防団は、日常はほかに職業を持つ一般住民である団員で組織され、いざ火災などの災害時に出動し、消火・防災活動にあたる機関です。出動したときには、消防署と協力し、消火・防災活動を行います。

消防団の組織

いの町消防団は、旧町村单位で3方面隊に分かれ、各地域単位の分団や部・班により構成されています。また、活動拠点として各地域に消防屯所があり、消防車をはじめ消防団活動に必要な資機材が整備されています。

消防団の役割 (地域防災力の向上)

消防団ってどんな活動をするの？

火災現場への出動をはじめその主な活動を紹介します。

災害活動

消防団活動の中でも最も重要なものです。

火災現場での消火活動、水

害時の水防活動などに出動し、災害現場の第一線で消防署の消防士と協力して災害の防除

救助活動などにも出動します。

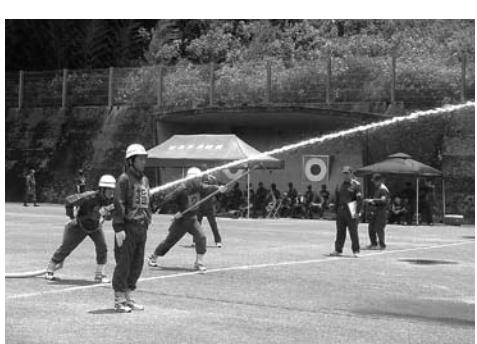
予防活動

また災害時の避難誘導、行方不明者の捜索・救助、水難救助活動などにも出動します。

訓練・教育活動

年末特別警戒による地域の火災予防、町民祭での警備活動も行っています。

啓発・広報活動



消防操法大会の様子

学校で消防団員として必要な知識や技術の習得をしていました。そして地域の自主防災組織の訓練へも積極的に参加しています。



また、新入団員には、消防回の訓練を行っています。

消防団では、各種消防演習や水難救助訓練、防災訓練、自主防災組織訓練など、年数

難しい役割を果たしてきました。今後も地元の状況などを熟知している消防団は、地域防災力の核として大きな力を發揮することが期待されます。

出動時に迅速かつ適切な活動を行うためには、団員一人ひとりの消防技術のレベルアップが必要です。

消防団では、各種消防演習や水難救助訓練、防災訓練、自主防災組織訓練など、年数

地域住民のためには消防団は重要な役割を果たしてきました。今後も地元の状況などを熟知している消防団は、地域防災力の核として大きな力を發揮することが期待されます。

出動時に迅速かつ適切な活動を行うためには、団員一人ひとりの消防技術のレベルアップが必要です。

消防団では、各種消防演習や水難救助訓練、防災訓練、自主防災組織訓練など、年数

地域住民のためには消防団は重要な役割を果たしてきました。今後も地元の状況などを熟知している消防団は、地域防災力の核として大きな力を発揮することが期待されます。